

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

県高校総体・体操

男子団体7連覇全国へ

田辺工業 個人も上位独占

県高校総体体操競技の部が27～29日、和歌山市の県立体育館であり、田辺工業が男子団体で7年連続の優勝を果たした。男子の部の個人総合でも上位を独占。団体メンバーの6人と個人2人が、8月にある全国高校総体(インターハイ)に出場する。

県高校総体の体操競技には、か、あん馬、つり輪、跳馬、田辺工業を含め5校が参加し、平行棒、鉄棒の6種目を演技した。団体は、各校の4人がゆいし、各校の上位3人の得点を



合計して順位を決めた。田辺工業男子団体の得点は246・05点で、準優勝の和歌山工業(125・4点)を大きく引き離れた。

男子の個人総合では、田辺工業が1～6位を独占。筒井宏樹君(3年)がゆか、あん馬、跳馬、平行棒の4種目で1位と強さを見せ、総合優勝した。2位に高田佑貴君(2年)、3位に横山秀也君(3年)が入った。

他校の有力選手がけがで不出場だったこともあり、種目別でも、6種目とも1～3位を田辺工業が独占した。

8月2～5日に島根県であるインターハイには、田辺工業団体メンバーの筒井君、高田君、横山君、今岡一斗君(1年)、中虹太君(同)、上村周平君(3年)の6人のほか、個人戦で山本開君(3年)、木本大晴君(2年)が

インターハイに出場する田辺工業のメンバー

出場する。

筒井君は「1種目でミスが出たけど、その後は自分たちのリズムをつかんで挽回できた。インターハイではチーム全員で協力し、6位入賞を目指したい」と話している。